

令和6年度 生涯学習講座一覧

実施日	講座名	演題	概要	講師	会場	参加人数
8月10日(土)	歴史講座 第1回	古代の交通制度からみた 津市 —市村駅家の所在地をめぐって—	古代の交通制度としては、駅馬・伝馬の制があり、伊勢国には宮都から東国へ向かう東海道と伊勢神宮や志摩国へ向かう志摩道がありました。諸道には約16km間隔で駅家が置かれ、津市には駅馬8疋を常備した志摩道の市村駅家があったことを学びました。	皇學館大学 名誉教授 岡田 登 さん	新町会館	63名
8月17日(土)	歴史講座 第2回	聖武天皇の関東行幸と津市 —関の宮と和遅野をめぐって—	聖武天皇は、天平12年(740)、九州で藤原広嗣が反乱を起こした最中に、「その時に非ずといえども、事已むことを得ず」として、関東に行かれます。津市では、関の宮と称した河口の頓宮に、10日間滞在され、和遅野で遊獵されています。その後、北伊勢・美濃・近江・山背と行幸し、恭仁宮に遷都されています。ここでは、津市との関りから関東行幸の意味について学びました。			57名

歴史講座

参加者の感想

- 地元の地域の歴史で非常に身近で興味深く聴講することができました。
- 市村駅家の所在地が家の近くにあったとは、びっくりしました。
我が生地が古くから開かれていた事に誇りを持ちました。
- 住んでいる地名が出ていて、地名の意味も改めて知り、楽しかった。
- 子どもの頃から聞きなれていた関ノ宮について、歴史と大いに関係があることは聞いていたが、より興味を持てるようになった。
- 聖武天皇の行幸について、とてもわかりやすく、興味がますますわいた。



貴重な遺物の展示も行っていました。